



高画質・高音質、Google TVで アクオスの新しい、

シャープ独自の高画質映像技術と立体音響スピーカーに加えて、使い勝手のいいGoogle TVを採用。全方位において隙のない仕上がりで、この夏のVGPアワードで特別大賞と企画賞に輝いたアクオスの新しい4K有機ELテレビ「ES1ライン」の魅力に、折原一也氏が迫ります。

シャープ独自の技術を惜しみなく投入

VGP審査員 折原一也

今、薄型テレビに求められる高画質・高音質・スマート機能のすべてにおいて先進的な機能を搭載するモデルとして、シャープのアクオス4K有機ELテレビ「ES1ライン」がVGPアワードで特別大賞の栄誉に輝きました。

審査員による推薦理由は多岐にわたりますが、ポイントの一つが、シャープ独自の技術でハードウェアから進化させた高画質です。ES1ラインで新たに採用された第2世代「S-Brightパネル」は、新しい発光素子を採用した有機ELパネルに対して、さらに独自設計の放熱構造として、パネル下部までをカバーするアルミ素材のプレート「クールダウンシールド」を装備することで、明るさ表現を追求。独自のパネル制御技術「Sparkling Drive EX」との相乗効果によって、突き上げるような煌めきも表現できるように進化しています。漆黒の表現はもちろん、「ブライト」(輝き)にも納得の高画質が、本機の特長といえます。

また、シャープ独自のAIプロセッサ搭載の画像処理エンジン「Medalist S3」も高画質の目玉です。8K液晶テレビの開発で培った技術が、この4K有機ELテレビにも投入されています。新たな映像モード「AIオート」は、AIの検出結果と放送のジャンル情報、そして設置しているお部屋の明るさなどに合わせて、自動で映像を最適化してくれます。さらに新機能「リラクスペビュー」によって、たとえば夜間に

はより落ち着いた色再現に調整してくれるりもします。

実際にES1ラインの映像を視聴すると、AIで100万通り以上の映像をディープラーニングしたという成果が十分に発揮されていて、放送番組を視聴しても、人肌であれば明るく健康的で洗練とした色合いで、美しく再現されます。また、青空のようなシーンでは空の美しさが映えるように信号処理をするなど、映像の中身にまで踏み込んだ最適化が行われています。最新のデジタルシネマは鮮明に、古い撮影の映画はその時代の味を残す再現と、自由自在な表現力を秘めているのです。

薄型テレビに求められる高音質性能も進化を遂げています。ES1ラインの内蔵スピーカーは画面を上下から挟み込むように配置されていて、この合計11個80Wものスピーカーを内蔵するオーディオシステムを、シャープでは「AROUND SPEAKER SYSTEM PLUS (ARSS+)」と呼んでいます。テレビの上部には前面に20°傾斜させ、音を斜め前方向に放出させるハイトスピーカーを搭載していて、ドルビーアトモスの立体音響にも対応します。

実際に映画で体験してみると、テレビ画面の中央から音が聴こえるようなサウンド体験は、まず一般的なテレビとは別次元のレベル。視聴位置を取り巻くように上下左右に空間が広がる、まさに劇場のよう



4K有機ELテレビ SHARP ES1ライン

¥OPEN 65V型/55V型

SPEC ●チューナー：BS 4K・110度CSデジタル4K×2、地上デジタル×3、BS・110度CSデジタル×3 ●パネル方式：有機EL ●画素数：3840×2160 ●音声実用最大出力：80W ●HDMI：4系統 ●外形寸法：1448W×895H×304Dmm(65V型) / 1227W×770H×304Dmm(55V型) ※いずれもスタンド含む ●質量：約35.5kg(65V型) / 約29.0kg(55V型) ※いずれもスタンド含む

スマートに 有機EL

な立体音響体験が味わえます。大きなテレビ画面を取り巻くように多数のスピーカーを配置するという開発コンセプトは、外付けのスピーカーだけでは得られない、臨場感のある音場再現に繋がっています。

今どきのテレビユーザーには外せないネット動画対応もES1ラインなら最先端だから安心です。GoogleTVのプラットフォームを採用しているので、たとえばネット動画の定番「YouTube」もサクサク楽しめます。スマホのように、視聴履歴に応じたおすすめ作品にも簡単にアクセスできるし、音声検索によってリモコンボタンで入力しなくてもハンズフリーで使えるので、ネット動画の検索もラクラク。Netflix、Amazonプライムビデオ、Hulu、Disney+、DAZN、テレビ見逃し配信Tverなど、定番の動画配信アプリにも対応しています。もちろん、スマホと同じように、新しいアプリもどんどん導入できるので、新たなサービスが登場しても安心です。また、別売のWEBカメラを接続することで、GoogleDuoによるビデオミーティングも可能となります。もちろん、アクオスで定番となっている回転スタンド(特定の角度で固定し、不意の回転を抑えることも可能)など、ユーザーフレンドリーな仕様も魅力です。

新世代パネルとAI高画質エンジン「Medalist S3」によってより美しい映像を実現するだけでなく、「AROUND SPEAKER SYSTEM PLUS (ARSS+)」の臨場感溢れるサウンド体験、そして最先端のネット機能まで、全方位をカバーするアクオスOLED、ES1ライン。完成度の高い薄型大画面テレビを求める方に、いま安心しておすすめできる一台です。

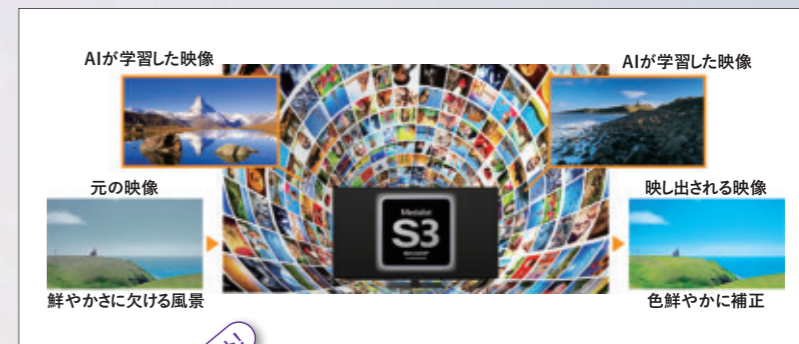


特別大賞^{※1}



企画賞^{※2}

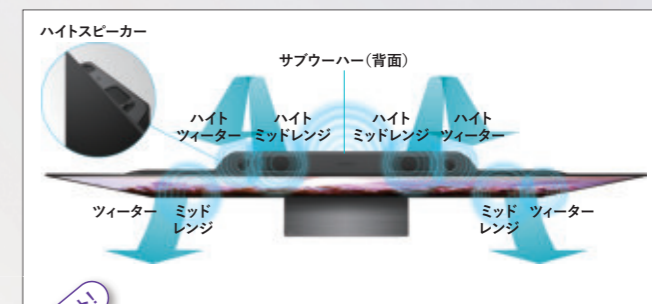
※1 受賞理由<独自の高輝度パネルやAI映像エンジン「Medalist S3」を採用した、高画質4K有機ELテレビに対して。>
※2 受賞理由<4K有機ELテレビ「ES1ライン」に搭載された、高音質スピーカー「AROUND SPEAKER SYSTEM PLUS」に対して。>



ここがポイント!

新開発・AI高画質プロセッサと高輝度パネルでさらに進化

100万通り以上の映像を学習した、AI高画質プロセッサ搭載の画像処理エンジン「Medalist S3」を採用。映像に含まれるオブジェクトや放送ジャンル情報をもとに、明るさや色、精細感などをオート調整することで、より臨場感のある映像を実現します。また、新たな発光素子と独自の放熱構造を採用した第2世代「S-Brightパネル」によって、もともと定評のあった暗部の階調表現だけでなく、明部の色表現も大きく進化しています。



ここがポイント!

ハイトスピーカーの効果が絶大

画面の上下に配置された合計11個のスピーカーで、臨場感あふれるサウンドを実現する「AROUND SPEAKER SYSTEM PLUS」を搭載。ドルビーアトモスの立体音響にも対応します。とりわけ音を斜め前に放出するハイトスピーカー群の効果が大きく、まるで画面の中央付近から音が聴こえるような感覚が味わえます。

ここがポイント!

Google TVならではのネット連携

Google TVを搭載しているから、多彩なアプリが活用できるのも魅力です。Netflixなど様々な動画配信サービスを手軽に楽しめるのはもちろんのこと、たとえば、別売のWEBカメラと「Google Duo」アプリを使えば、テレビの大画面を活用したオンライン帰省やリモート飲み会も可能です。

